

平成26年度
たかしま市民協働交流センター協議会
事業報告

平成27年5月21日

目次

I. 運営委員会・会員関連

II. たかしま市民協働交流センター

1. 情報発信集積事業

- (1)「たかしま市民協働交流センターだより」の発行
- (2)ホームページ・ブログ
- (3)メールマガジン
- (4)団体登録

2. 相談支援事業

3. 市民協働交流事業

- (1)たかしま市民活動フェスタ2014
- (2)子育てサポートグループのためのセミナー＆交流会

4. 研修事業

- (1)実務講座開催
- (2)まちづくり推進会議

5. 協働コーディネート

6. その他

- (1)研修参加記録
- (2)外部委員会等参加記録
- (3)講師対応記録
- (4)コピー・大判プリント等対応記録
- (5)潜在的移住受入基盤調査事業

III. たかしま未来を担う人づくり事業

1. 事業の目的と事業概要

2. 円卓会議およびプロジェクト会議

- (1)たかしま・未来・円卓会議
- (2)プロジェクト会議
- (3)視察研修
- (4)広報

3. コーディネーターのスキルアップ研修

IV. 今津東コミュニティセンター

1. 施設利用状況

2. 事業報告

I. 運営委員会・会員関連

第1回 4月23日(火) 19:30~21:30
今津東コミュニティセンター
出席者9名、欠席者2名

総 会 5月24日(土) 19:30~21:00
今津東コミュニティセンター
出席者15名、委任状出席9名、欠席者6名

第2回 5月24日(土) 21:00~21:30
今津東コミュニティセンター
出席者11名、委任状出席1名

第3回 10月7日(火) 19:30~21:30
今津東コミュニティセンター
出席者10名、欠席者2名

第4回 12月15日(月) 19:30~21:30
今津東コミュニティセンター
出席者5名、委任状出席2名、欠席者5名

第5回 平成27年3月6日(金) 19:30~21:30
今津東コミュニティセンター
出席者6名、委任状出席4名、欠席者2名



I. たかしま市民協働交流センター

1. 情報発信集積事業

(1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行

発行部数 18,000部

配布先 自治会を通して市内全戸、全公民館、図書館、ホール、
高島市内滋賀銀行各支店、関西アーバン銀行、市内郵便局、市内小中学校
今津サンブリッジホテル

- ◆目的 市民活動や協働に関する情報とともに、高島市内の市民活動や企業の社会貢献活動などを取材、紹介することにより、さまざまな人、活動団体、企業がつながることを目的に発行した。

◆24号 7月1日発行

表紙 平成26年度協働提案事業紹介

インターネット活用による地域活性化事業（NPO 法人 e ネットびわ湖高島）

特集 地域を元気にするおやじの力をご紹介します！

- ・国境炭焼きオヤジの会
- ・学童保育きらきらクラブのおやじ会
- ・おやじ塾（ゆめぱれっと高島）
- ・高島市家庭教育支援チーム「パラソル」
- ・安曇川 男の料理クラブ

元気企業 マキノ高原観光株式会社

たかしま市民活動フェスタ2014実行委員会報告

たかしま・未来・円卓会議でめざすこと

団体紹介 ・ナルクびわこ高島

- ・NPO 法人リバティー・ウイメンズハウス・おりーぶ
- ・子育て支援グループ「サンサン」

◆25号 10月1日発行

表紙 平成26年度協働提案事業紹介

まちの縁側・居場所プロジェクト（NPO 法人元気な仲間）

特集 地域を元気にする女性の力をご紹介します！

- ・たすけあい高島（NPO 法人元気な仲間）
- ・睦美会
- ・藤江区の子どもの家
- ・Café Lac(カフェラック)
- ・新旭チャレンジクラブ

元気企業 株式会社ヤサカ 安作美ファーム

たかしま市民活動フェスタ2014実行委員会報告

たかしま・未来・円卓会議報告

団体紹介 ・NPO 法人どっちんクラブ

- ・たかしま災害支援ボランティアネットワークなまず
- ・海津・西浜・知内地域文化的景観まちづくり協議会

◆26号 2015年1月1日発行

表紙 平成26年度協働提案事業紹介

支え合いの社会づくりのための移動販売事業

(社会福祉協議会 虹の会 ギョウレツ本舗)

特集 地域を元気にする若者の力をご紹介！

- ・認定NPO 法人 TSC
- ・高島市青年協議会
- ・高島市消防団
- ・湖地考知プロジェクト

元気企業 今津サンブリッジホテル

新年あいさつ (運営委員長)

たかしま・未来・円卓会議報告

団体紹介 ・巨木と水源の郷をまもる会

・NPO 法人高島藤樹会

・結いの里 椋川

◆27号 4月1日発行

表紙 平成26年度協働提案事業紹介

社会的ひきこもり支援活動推進事業 (社会的ひきこもり家族の会「みにとまと」)

特集 地域を元気にする子どもの力をご紹介！

- ・ガールスカウト湖西地区協議会
- ・高島市青少年育成市民会議
- ・マキノ町辻区子ども会

元気企業 有限会社 宝牧場

たかしま・未来・円卓会議報告

団体紹介 ・湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部

・音訳サークルかけはし

・ボランティアチーム針畑

◆タイトルの検討について

市民に親しみやすく、かつ当センターの活動が伝わるタイトル「おむすび・たかしま」に決定した。



(2) ホームページ・ブログ・Facebook

ホームページ：<http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

ブログ：<http://tkkc.shiga-saku.net/>

ホームページは、事業報告、情報誌、利用案内などを掲載。

<リンク>コーナーは、高島市内の多様な市民活動など、約80団体を掲載するため準備中。

現在のリンク数 市内市民活動団体 8団体

ブログは、センターからのお知らせ、イベント報告、市内外の市民活動団体の講座やイベント、助成金情報、市民活動に役立つ行政や企業によるイベントなどを掲載した。

センターからのお知らせ	8件
市民活動フェスタ関連	15件
円卓会議関連	19件
高島市の市民活動情報	113件
滋賀県・全国の市民活動情報	55件
助成金情報	45件
ボランティア募集情報	9件
行政、企業からのお知らせ	53件

(3) メールマガジン

登録件数 113件（平成27年3月末現在）

発行回数 20回（月2回発行）

内容 センターのイベント、講座紹介、市民活動団体の広報、助成金情報、市外、県外の市民活動団体向け講座やイベント情報などを発信した。

(4) 団体登録

登録件数 182件

団体ファイル管理数 107

登録団体リストは、団体紹介依頼への対応に活用した。また、当センターのイベントや講座案内などを送付し、登録団体のスキルアップや当センターとのつながりを意識してもらえるように工夫してきた。

団体ファイルは、登録団体からのチラシや情報紙などを保存し、団体の活動について把握する目的で管理を行ってきた。

2. 相談支援事業

相談件数 63件

内容	1. NPO 法人設立・組織運営相談	17件（14時間）
	2. 団体・人紹介	13件（8時間）
	3. 助成金相談	3件（3.5時間）
	4. 協働提案事業相談	6件（8時間）
	5. 視察相談	4件（7時間）
	6. その他	20件（25時間）

NPO 法人設立や運営の相談では、継続的なサポートをとおして関係性が深い団体が増えてきた。助成金相談では、初めて助成金を応募する方へ申請書の書き方、公開プレゼンテーションの内容へのアドバイスなど継続して対応し、助成金を得ることができた。個人のボランティア活動から任意団体への組織化に向けての相談も継続的な対応でサポートしている。

その他の相談対応への分類が多くなったが、会議の進行の仕方やファシリテーションの依頼、大学からの連携相談などが増えている。その他に、イベントの実施について相談があり、当センターとの協力事業として「ヒロシマ被爆ピアノコンサート」が開催された。

8月31日（日）
ヒロシマ被爆
ピアノコンサート
（今津東コミュニ
ティセンター）



◆視察訪問

1. 西小倉コミュニティ推進協議会（宇治市）9月14日（日）
2. 長浜市市民協働推進課（長浜市）7月24日（木）
3. たるいまちづくりフェスタ実行委員会（垂井市）8月25日（月）
4. JAPANOLOGY-MUSEUM 山縣氏（東京都）10月29日（水）
5. 滋賀大学学び直し塾 地域ガバナンスグループ高島班 11月25日（火）
（湖南市、彦根市、長浜市、高島市）

たるいまちづくりフェスタ実行委員会



長浜市市民協働推進課



3. 市民協働交流事業

(1) たかしま市民活動フェスタ 2014

名称：たかしま市民活動フェスタ 2014 あなたが主役～子どもたちの未来のために～

日時：2014年11月8日（土）10:00～15:00

会場：今津東コミュニティセンター

出展団体：37 団体

延べ来場者数：約500 人

◆目的 市内各地で活動する市民活動団体が分野や地域を越えて、お互いに出会い、交流する機会を持つと同時に、市民の市民活動への理解を広め、出会いと参加の機会とすることを目的に開催した。特に今年度は、参加団体が連携したコラボ企画を実施することで相互に理解を深め、活動アピールの効果をあげることをめざして、連携を呼びかけ、コラボ企画が実施された。

◆会議等

4/24 フェスタ準備会 出席者数／8名

【内容】実行委員会の募集方法などを検討

5/8 フェスタ準備会 出席者／11名

【内容】フェスタ実施日程、実行委員会募集について

5/16-6/4 実行委員募集

6/4 第1回フェスタ実行委員会 出席者数／20名

【内容】実行委員長の決定、スケジュール作成

6/16 第2回フェスタ実行委員会 出席者数／14名

【内容】テーマについて、参加団体交流会について

7/3 第3回フェスタ実行委員会 出席者数／15名

【内容】テーマの決定、つながりカフェについて

7/28 第4回フェスタ実行委員会 出席者数／10名

【内容】つながりカフェの内容と担当について、参加団体募集について

8/4 つながりカフェ 参加者／24団体・39名

【内容】趣旨、テーマの共有、グループワークでコラボ企画の検討

8/25 第5回フェスタ実行委員会 出席数／8名

【内容】つながりカフェのふりかき、コラボ企画整理、参加団体説明会について

9/8 第6回フェスタ実行委員会 出席者数／12名

【内容】コラボ企画、部会について、説明会の組み立てについて

9/11 参加団体説明会 出席数／27 団体・32 名

【内容】趣旨、テーマなどの共有、部会毎のミーティング、全体ミーティング

9/22 参加団体説明会 参加者／30 団体・33 名

【内容】趣旨の共有、各部会でのミーティング、全体共有、事務連絡

9/30 臨時実行委員会 出席者／9名

【内容】参加団体説明会の内容、全体企画、コラボ企画の整理

10/6 第7回フェスタ実行委員会 出席者数／10名

【内容】会場と全体スケジュールの確認、PRチラシについて

10/16 フィナーレ部会会議 出席者／11名

【内容】フィナーレの内容と進め方、交流会について

10/27 第8回フェスタ実行委員会 出席者数／14名

【内容】会場配置、スケジュールの確認、フィナーレの内容共有、交流会について

11/21 ふりかえり会 出席者／9名

【内容】アンケート結果の共有と反省点、良かった点などの整理、次年度アイデアなど

◆コラボ企画

絵本と出会うクイズラリー（参加団体&NPO 法人絵本による街づくりの会）

【内容】参加団体の活動内容に合わせた絵本を各団体ブースに配置し、参加者と参加団体が絵本を介して出会いにつながった。

点字に触れてみよう（高島市視覚障害者福祉協会&会場全体）

【内容】会場のさまざまな場所に点字表記と墨字表記を貼り付け、点字に触れ、点字について関心を高めた。

つながりカフェ in フェスタ～ぼくらと高島市の未来を語ろう！

【内容】高島市青年協議会、マキノまちづくりネットワークセンターなどが来場者に呼びかけ、高島の未来について語りあった。

学童保育連絡協議会と朗読劇団ムサシさんによるコラボ企画

【内容】ムサシさん制作のオリジナルシナリオから学童保育の子どもたちが紙芝居を作成し、発表した。

和室のカフェコーナー

（FEC 自給圏ネットワーク、オーガニック給食委員会、ミツバチまもり隊、結いの里 椋川）

【内容】4団体の連携でおむすび体験、紙芝居の読み聞かせなどを行い、来場者と交流した。

◆来場者からのメッセージ（一部）

【テーマ】たかしまの未来、こんなまちになったらいいな～

- ・「社会のため」「高島のため」活動されている「誰かのため」にがんばる人がこれからも出てくるといいな
- ・みんなが笑顔になるような町がいいな
- ・子どもから大人まで、安心して暮らせる街でありますように
- ・地元の人たちも、共に一緒に、もっともっと活動しましょう！
- ・子どもが大きな夢と希望をもてる”たかしま”になるようがんばりましょう！
- ・みんながけんかをしないまちがいい
- ・随所の絵本が良かったです。活気あふれる高島になりますように！

◆イベント当日の様子



◆イベントチラシ



◆メディア掲載 県民情報しが 11月4日(火)



坂下 靖子さん(46)
(高崎市今津町松陽台)
たかしま市民協働交流センターの事務局長です。高崎市内の40団体が体験会や模擬店、バザー、発表などを行う「たかしま市民活動フェスタ」を8日午前10時から今津東コミュニティセンターで開きます。今年のテーマは「あなたが主役～子どもたちの未来のために～」で、各団体に関連する絵本や紙芝居などを各ブースに置いて子どもたちとのつながりを考えます。土鍋で炊いたご飯のおにぎり作り、災害時の非常持ち出し袋の重さ体験、お菓子釣り体験、楽器演奏など盛りだくさんの内容です。家族そろってご参加ください。

10団体が活動フェスタ

たかしま市民活動フェスタ2014アンケート結果

(来場者 500名 回答者 68名)

1. たかしま市民活動フェスタに参加されていたいかがでしたか？

① とても良かった 22 ②良かった 10 ③あまり良くなかった 0 無回答 38

2. 市民活動やボランティアに興味を持たれましたか？

① とても興味を持った 20 ②少し興味を持った 11 ③あまり興味を持たなかった 0
無回答 39

3. 市民活動やボランティアに参加しようと思いますか？

①ぜひ参加したい 19 ②機会があれば参加したい 11 ③あまり参加しようと思わない 1
無回答 39

感想・意見

- ・興味深い活動が沢山あって多くの方とつながることができました。
- ・楽しかったけれど、屋台などお店を増やしてほしい。
- ・これだけ多くのグループがあることに驚いています。
- ・色々なグループがあって、今後の参考になった。
- ・参加団体が多く、驚いた。

<たかしま市民活動フェスタ つながりカフェ>

日時：8月4日（月）19：30～21：30

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加：39名（24団体）

参加費：100円（コーヒー代）

◆目的

参加を希望する団体に、実行委員会で決定した今年度のたかしま市民活動フェスタのテーマを共有すること、参加団体がお互いに交流を深めるための機会を持つことを目的に開催した。特にグループワークでは、参加団体同士が得意なことを出し合ってコラボ企画を考え、交流から関係性を深めるための仕掛けを作った。

◆内容

1. 実行委員会からフェスタへの思い、フェスタがめざすことを発表
2. つながりカフェタイム
5～6名のグループを作り、自己紹介、コラボ企画を考える。
3. みんなで共有
各グループからコラボ企画を発表する

◆コラボ企画の案

- ・手作り楽器とチャレンジランキング
- ・絵本を作ろう・絵本カフェコーナー
- ・家庭菜園教室
- ・絵本に出てくるお菓子・駄菓子や花飾りの手づくり体験
- ・おむすび体験・お米の力を見直すセミナー
- ・高島の自然を遠くの友達に！紙風船で植物の種を飛ばそう
- ・高島を題材にした朗読劇への参加

コラボ企画については、実行委員会で実施方法について検討した。



<たかしま市民活動フェスタ2014交流会>～もっと、つながりカフェ～

日時：11月8日（土）16：00～17：00

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加費：500円（お茶、お菓子代）

参加者：28名

◆目的

フェスタの中でじっくり交流できなかった参加団体の交流の場として開催した。コラボ企画への感想や次回へのアイデアなどをお互いに出し合った。

◆内容

フェスタ当日の写真をスライドで見ながら、各グループで下記のカードについて話し合い、全体に共有していった。

- ① 一番印象に残った団体あるいは企画
- ② 来年やってみたい事（企画）
- ③ 普段の活動でつながってみたい団体はありますか？
- ④ コラボ企画の感想
- ⑤ 一番興味を持った絵本は？

参加団体アンケート

参加団体 37団体 回答 15団体

自由コメント（一部抜粋）

- ・気持ちが一つになってフェスタを締めくくることができた。
- ・他団体の方や市民との交流ができ、他のフェスタと違う意義のあるフェスタである。
- ・あまり経費をかけず、手作りのフェスタでよかった。
- ・フェスタに来場された市民が、何らかの活動にデビューしていただけたら、自分で新たな活動を始めるきっかけになる場になればいいと思います。
- ・来年はコラボ企画に自らの団体が参加できるように案を考えたい。



(2) 子育てサポートグループのためのセミナー&交流会

(研修事業・実務講座として同時開催)

日時：7月10日(木) 9:45~12:00

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加者：13名(5団体)(男性2名、女性11名) 参加費：500円



- ◆目的 市内で子育て中の親子をサポートする活動を行っているグループや団体は複数あるが、お互いの目的、活動内容などを共有し、活動上の課題や今後の展望などを相談する場は無い。情報交換することからつながりを作ることを目的に交流会を開催した。

なお、NPO 法人マイママ・セラピー代表 押栗泰代さんから子育てサポート活動の経緯や行政・企業との協働事業についての講演を聞き、今後の活動展開の参考にするセミナーとしても開催した。

◆内容 ①各団体の活動紹介

- ・たすけあい高島(NPO 法人元気な仲間)
- ・家庭教育支援チームパラソル
- ・NPO 法人絵本による街づくりの会
- ・寄里藍
- ・子育て支援グループ「サンサン」

②セミナー 押栗泰代さん

(NPO 法人マイママ・セラピー代表/ナーシングクリエイティブ代表取締役)

子育て支援は、女性の生き方へのサポートと位置づけて活動している。女性として未来を描けるようになることが母親として安定した子育てにつながる。母親同士がサポートし合えるグループづくりを支援している。

子育てサポートから出てきたニーズにより、陣痛・破水した妊婦を安全に病院へ送る「ゆりかごタクシー事業」を立上げて来られた。事業には、近畿運輸局、滋賀県タクシー協会、産婦人科医師など医療関係者、NPO 法人などが関り実施されている。行政、企業、市民との協働の好事例として全国に先駆けたモデルとなっている。

支援者として、必要なスキルを認識すること。町の未来を描いて活動を展開することについて講演された。

③質問と情報交換タイム

各グループが抱える運営上の不安、子育て支援上の悩みなどを出し合った。

◆アンケート結果(一部抜粋) 参加者：13名 回答者：9名

○内容について

たいへん良かった 6、良かった 1、ふつう 0、良くなかった 0、無回答 1

○自由記述

- ・今後もこのような場を継続して持ちたいと思った。安心して出産して子育てできる地域になるといいなと思えた。
- ・色々な意見が聞けて、とても勉強になった。
- ・発言が気軽にできてよかった。
- ・それぞれのグループが頑張っておられる様子が良く分かった。ボランティアの気持ちで関るところから一歩踏み出し、市の将来を見据えて考える必要を感じた。

4. 研修事業

(1) 実務講座開催

① ホワイトボード・ミーティング勉強会

日時：平成26年11月18日（火）19：00～21：30

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加人数：16名（8団体）

講師：西川実佐子さん（認定 NPO 法人しが NPO センター 理事・事務局）

参加費：1団体 500円（資料代）

◆目的

市民活動団体・NPO、ボランティアグループ、まちづくりに取り組むグループだけでなく、家族や職場、教育現場でも役に立つ、ホワイトボード・ミーティングの手法を知り、コミュニケーションによって参加者の主体性を引き出しながら、安心して発言できる不気味づくりを学ぶ。ホワイトボードを活用して、発言を「書き」、みんなで「見る」ことで発展的に話を進められる手法を学んだ。

◆内容

「オープクエスチョン」「あいづち」を練習する。（承認される安心感）

「聴きながら書く」実践練習。

◆アンケート結果

参加者 16名 回答者 16名

問 内容について

大変よかった 11名、良かった 2名、ふつう 1名、あまり良くなかった 0名、
無回答 2名

自由記述

- ・オープクエスチョンは普段の生活で活かして練習しようと思います。
- ・会議でホワイトボードを使っているが、ファシリテーターという立場で会議を進めていく立場になってきた。どう書いたらいいのか、どう進めるのか、具体的に学びたかったのでたいへん参考になった。
- ・ホワイトボードを使ってミーティングをするが、参加者側はよいが、ファシリテーターはたいへんというイメージが強かった。ちょっとがんばってやってみたい。



② ボランティアコーディネーション力を高めよう～リーダー向け分科会～

(ボランティアのつどい2014 分科会5として開催)

日時：平成26年11月29日(土) 12:50～15:45

会場：今津東コミュニティセンター ホール

参加人数：11名(10団体)

講師 永井美佳さん(社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局次長)

◆目的

市民協働のまちづくりを進めるためには、市民一人ひとりが主体的、自発的に地域課題に取り組むボランティア活動や組織で取り組む市民活動が増えることが必要。同時に、市民活動に関る者が、ボランティアの意義を正しく理解し、多様な人や組織が対等な関係でつながれるように支援し、つながりの中から新たな力を生み出せるよう働きかけるボランティアコーディネーション力を持つことが欠かせない。市民活動に関る人がボランティアコーディネーションの役割りや機能について理解する目的で開催した。

◆内容

講義 「一人ひとりの参加力＝ボランティアコーディネーション力を高めよう
～働きかけ方、つながり方とは」

グループディスカッション 「地域の課題、資源、ネットワークを考える」

グループワークで出された「ボランティアを増やすためにできること」

- ・活動の継続性・・・楽しさと募集で回転していく
- ・募集の工夫・・・広報、口コミ、FB
- ・楽しく活動すること！ 仲良く、祭り、呑む食べる、懇親会、不良性
- ・目的と活動内容を分かりやすく伝え、仲間を増やす
- ・目的を明確にする
- ・やりがいがあると楽しくなる



(2) まちづくり委員会へのヒアリングおよび会議出席

各地域のまちづくり委員会の活動上の課題、今後の展望などについて把握するためにヒアリングを行い、ヒアリング内容について市民協働課へまとめて伝えた。地域課題に対応した委員会の活動のための情報収集として、東近江市および湖南市のまちづくり協議会および担当課へヒアリングを行った。

1. まちづくり委員会へのヒアリング

新旭地域まちづくり委員会ヒアリング

日時 9月3日(水) 13:30~15:30

場所 三田村さん宅(新旭町饗庭)

対象 委員長 三田村 勝さん

今津地域まちづくり委員会ヒアリング

日時 9月16日(火) 9:30~10:30

場所 今津東コミュニティセンター

対象 委員長 小林忠伸さん

高島地域まちづくり委員会ヒアリング

日時 9月8日(月) 18:00~19:30

場所 今津東コミュニティセンター

対象 委員長 澤村茂美さん

マキノ地域まちづくり委員会ヒアリング

日時 9月9日(火) 13:30~15:00

場所 高島市シルバー人材センター

対象 委員長 川添宏司さん

※9月5日 マキノ支所で行われたマキノ地域まちづくり委員会にも参加。

朽木地域まちづくり委員会ヒアリング

日時 9月18日(木) 19:30~22:00

場所 朽木支所

対象 委員長 澤田雅明さん

安曇川地域まちづくり委員会ヒアリング

日時 9月25日(木) 15:30~16:00

場所 安曇川公民館

対象 委員長 地村満信さん

まとめ

○共通課題として出された事項

- ・補助金支援団体の活動内容、適正な支出について確認できていないと感じている。
- ・地域住民との関係性が低い
- ・地域住民に活動の目的や内容を伝えることが難しい
- ・地域での位置づけ、役割りが不明
- ・地域住民から地域課題やニーズを吸い上げるのは難しい

○個別の課題意識

- ・補助金を受けるグループのメンバーが委員に入っており、公平性に問題を感じる
- ・防災など市民の関心の高いテーマに取り組み、身近なコミュニティの見直し、絆づくりなどの活動をするべきではないか。
- ・地域で「何か活動をしたい」と思っている市民をサポートできる仕組みになっていない。
- ・地域イベントや祭りなどは多いが、点で終わっており、関係性を深める機会になっていない。
- ・委員会に多様な活動メンバーが入っていると視野が広がるのだが。

2. 他市のまちづくり協議会視察

蒲生地区まちづくり協議会

日時 10月15日（水）10：00～12：00

場所 蒲生コミセン（東近江市市子川原町）

対象 会長 向井 隆さん、副会長 佐川昭子さん

東近江市総務部まちづくり協働課

日時 10月15日（水）13：30～15：30

場所 東近江市役所

対象 まちづくり協働課 今村幸一さん

湖南市政策調整部新しい公共推進課

日時 10月28日（火）14：00～15：00

場所 湖南市役所

対象 新しい公共推進課 課長 中村作正さん、課長補佐 中村聡子さん

石部南学区まちづくり協議会

日時 10月28日（火）15：30～17：00

場所 石部南まちづくりセンター（湖南市石部南）

対象 会長 大島正秀さん、統括部長（事務局長） 土居憲昭さん、顧問 荻田嘉彌さん

特徴

＜蒲生地区まちづくり委員会＞

- ・自治会連合会が合併後のまちづくりを見越し、まちづくり協議会への準備を始めていた。
- ・42自治会へまちづくり協議会設立に向けて準備会が説明に出向き、まちづくり計画作成のためのアンケート調査（1,000人）を行い、地区の課題を整理した。
- ・まちづくりの基本は自治会にある。自治会と協議会が両輪でまちづくり計画を進める。自治会と協議会の役割り分担を整理している。
- ・地区に住む一人ひとりが会員をめざし、まちづくり計画を取り組みが判りやすいテーマで表現し、親しみやすい部会名を付け、住民が参加しやすいように工夫している。
- ・地域のキーマンを巻き込み、かかわる人を広げている。
- ・各部会が活動しやすい組織づくりがされている。
- ・財源は、コミュニティセンターの指定管理料、各世帯からの会費、補助金、受託事業など。地域活動支援補助金は、各協議会の申請を市外の専門家による審査員により公開ヒアリングを行い審査、決定されている。

＜東近江市まちづくり協働課＞

- ・八日市市の各小学校区および各旧町に14のまちづくり協議会がある。
- ・設立は地域の準備が整ったところから順次行った。まちづくり計画の策定では、市民活動アドバイザーの派遣も行った。
- ・現在、各協議会でコミュニティセンター指定管理が行われている。運営については地域差があり、自立途上の地域もある。

＜湖南市新しい公共推進課＞

- ・合併後、各地域の実情に合ったサービスは、地域ニーズを最もよく知る地域住民によって実施される必要があると、各小学校区の区長会に伝えられた。
- ・モデル地区から地域性に合わせて順次組織された。
- ・各地域で、地域コミュニティプランづくりが自治会長や民生委員など地域課題に対応する人たちにより協議された。この協議の場が基本となり協議会が設立されている。
- ・各地域で作成されたコミュニティプランに沿って事業が実施されている。
- ・平成25年度、地域コミュニティプランを見直し、次の5年後をめざしたコミュニティプランづくりのための研修会を実施。各地域で新たなコミュニティプラン作成がされている。
- ・財源は、まちづくりセンターの指定管理料、事業補助、受託事業。補助金は「きらめき湖南事業」として各協議会からの申請を外部専門家による公開ヒアリングで審査、決定されている。

＜石部南学区まちづくり協議会＞

- ・1年間設立準備のための協議を、区長会を中心に行った。
- ・設立から5年を経て、平成25年度に新たなコミュニティプランを作成。会員約50名が、地域課題を出し合い、また家族や職場などからも課題、意見を集め、まとめていった。5回の会議で、5年後のありたい姿から、年度目標を立て、必要な人員と予算と実施計画を作成した。
- ・コミュニティプランを住民が参加しやすいよう、事業を細分化して各戸配布した。その結果、会員が増加している。

3. 第3回まちづくり委員会代表者会議

日時 平成27年1月15日（木）19：30～

会場：今津老人福祉センター

出席：各地域まちづくり委員会 委員長、副委員長

各支所長、担当者

たかしま市民協働交流センター 坂下靖子

高島市市民協働課から（仮称）高島市まちづくり推進会議の設置について、概要および運営方法等の説明がされ、出席者との質疑応答があった。

5. 協働コーディネート

① 協働セミナー

日時：9月8日（月）19：30～21：30

会場：今津東コミュニティセンター ホール

講師：田中 優さん（大阪国際大学現代社会学部准教授）

参加：22名

◆目的 平成27年度協働提案事業の募集に向けて、協働について理解を深めるセミナー

◆内容 講義「市民協働による高島のまちづくり」

ワールドカフェ「高島市の問題・課題」「それらへのアプローチ」

② 協働提案事業に関する相談対応 6件

・社会的ひきこもり家族の会「みにとまと」

・POKEWEB

・高島つながり隊

③ 平成27年度実施市民協働提案事業 審査会

日時：10月22日（水）9：30～15：00

会場：今津東コミュニティセンター 3階ホール

アドバイザー：坂下靖子

④ 平成26年度市民協働提案事業中間点検

日時：12月19日（金）8：45～12：00

会場：旧新旭公民館4-1 研修室

対象：社会的ひきこもり家族の会「みにとまと」

特定非営利活動法人元気な仲間

⑤ 平成27年度実施協働提案事業関係者協議

◆目的 事業提案者、関係課との関係を深め、事業に関する課題と目標の共有をする。

1回目

日時：平成27年2月16日（月）、19日（木）

会場：高島市役所

内容：採択2事業それぞれ、事業提案者、関係課が集まり、事業内容を確認し、事業内容の確認と役割りについて協議した。

アドバイザー：坂下靖子（たかしま市民協働交流センター 事務局長）

2回目：高島つながり隊

日時：3月4日（水）9：00～

会場：高島市役所

内容：事業スケジュールの確認、関係課の事業との整理

アドバイザー：坂下靖子（たかしま市民協働交流センター 事務局長）

2回目：ヴォーリス今津郵便局の会

日時：3月4日（水）13：00～

会場：旧今津郵便局

内容 事業スケジュールの確認、事業の整理と目的の共有、関係課の役割り確認

アドバイザー：坂下靖子（たかしま市民協働交流センター 事務局長）

⑥ 平成26年度協働提案事業成果発表会

日時：3月24日（火）13：30～16：30

会場：旧新旭公民館 多目的ホール

内容：事業結果報告（4事業）

ディスカッション

・協働のプロセスについて検証

・事業の継続について

進行 坂下靖子（たかしま市民協働交流センター 事務局長）

6. その他

(1) 研修参加記録

- ◆目的 高島市における中間支援組織として、当センター運営に当たり、事務局スタッフに必要なスキルと知識の向上、また関連団体とのネットワークを構築することを目的に、市内外の研修に参加した。

◆研修内容

①市民活動支援センター意見交換会

- ・第1回意見交換会 5月16日（金）大津合同庁舎
参加：原田 将
内容：各センター事業とスケジュール説明、意見交換
- ・第2回意見交換会 9月4日（木）県民交流センター
参加：坂下靖子
内容：滋賀県県民活動生活課より法人格による特徴について
法務局よりNPO法人にかかる登記手続きについて
- ・第3回意見交換会 12月11日（水）立命館大学BKC
参加：坂下靖子
内容：立命館大学BKCのサービスラーニングセンターと地域連携について
龍谷大学の取り組みについて
ボランティアセンターで活動する学生との懇談
- ・第4回意見交換会 3月12日（水）野洲市市民活動支援センター
参加：坂下靖子、原田 将
内容：組織のデータベースの管理と職員のネットワークの共有について



③災害支援市民ネットワークしが

- 総会 4月22日（火）15：00～17：00 草津市立まちづくりセンター
参加：原田 将
内容 2013年度事業報告、2014年度事業計画について

第1回研究会 7月22日(火) 13:30~16:30

滋賀県労働者福祉協議会セミナー室

参加：原田 将

内容：滋賀県の防災体制と危機管理センターについて意見交換

④滋賀県市町村職員研修センター1DAYセミナー「ゼロからはじめる協働入門」

日時：12月9日(火) 9:30~14:45

会場：旧新旭公民館 多目的ホール

参加：原田 将

講師：静岡大学人文社会科学部 教授 日詰一幸氏

⑤プログラムデザインドリル講座

日時：平成27年1月29日(木) 9:30~21:15

会場：大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

参加：坂下靖子、原田 将

講師：株式会社ひとまち 代表 ちょん せいこ氏

内容：ファシリテーション技術、評価基準の作り方、プログラムデザインについて、講義と実践により学んだ。

(2) 外部委員会等参加記録

◆目的 各種団体とのネットワークを広げることを目的に市内外の地域づくり、教育関連の委員会等へ参加した。

①高島市移住・定住市民会議

委員：坂下靖子

準備会	5月26日(月) 19:45~21:30	高島市役所
第1回	8月 6日(水) 19:45~21:30	旧新旭公民館
第2回	9月17日(水) 19:45~21:30	旧新旭公民館
コアメンバー会議	10月21日(火) 19:30~22:00	高島市役所
第3回	11月 4日(火) 19:00~21:30	高島市役所
視察研修	11月19日(水) 7:30~20:30	岡山県真庭市
コアメンバー会議	11月20日(木) 19:30~21:30	高島市役所
第4回	12月10日(水) 19:00~21:30	高島市役所
第5回	平成27年1月13日(木) 19:30~21:30	高島市役所
第6回・コアメンバー会議		
	2月 4日(水) 19:30~21:30	高島市役所
第7回	2月12日(木) 19:00~21:30	高島市役所
移住・Uターンフォーラム	市民アクションプラン発表	
	3月14日(土) 12:30~16:30	観光物産プラザ

②住民参加型助け合いサービス連絡会

参加者：坂下靖子

第6回つながり会議

日時：6月12日（木）13：30～16：00

会場：安曇川デイサービスセンター

合同会議（高島市ボランティア・福祉学習センター運営委員会、地区ボランティアセンターコーディネーターと合同）

日時：7月25日（金）13：30～16：00

会場：新旭総合福祉センターやすらぎ荘

③たかしま結びと育ちの応援団会議

参加者：坂下靖子、原田 将

第1回 7月31日（木）19：45～21：45 新旭公民館

第2回 8月28日（木）19：30～21：30 新旭公民館

第3回 9月26日（金）19：30～21：30 新旭公民館

第4回 10月23日（木）19：30～21：30 高島市観光物産プラザ

第6回 12月17日（水）19：30～21：30 高島市観光物産プラザ

第7回 平成27年1月28日（水）19：30～21：30 高島市観光物産プラザ

第8回 3月19日（木）19：30～21：50 高島市観光物産プラザ

④ふれあいの居場所ネットワーク事業運営委員会

参加者：坂下靖子

第2回 12月22日（月）10：00～12：00 新旭公民館

第3回 平成27年2月13日（金）10：00～12：00 新旭公民館

⑤高島福祉のまちづくり推進委員会

委員：坂下靖子

第2回ステップアップ委員会

日時：8月7日（木）13：00～16：00

会場：安曇川デイサービスセンター

⑥平成26年度しが環境教育リーディング事業

推進員：坂下靖子

第1回研究推進委員会

日時：5月29日（木）13：30～16：30 コラボしが大会議室

第2回研究推進委員会

日時：平成27年2月10日（火）13：30～16：30 県庁北新館

⑦滋賀県環境学習等推進協議会

委員：坂下靖子

第1回 10月30日（木）13：00～14：30 滋賀県庁新館大会議室

第2回平成27年2月17日（火）10：00～12：00

環びわ湖大学・地域コンソーシアム

⑧「たかしま市民まつり」実行委員会

実行委員：坂下靖子

日 時	会 場
4月 4日（金）20：00～22：00	かばた館
4月25日（金）20：00～22：00	かばた館
7月29日（火）20：00～22：00	かばた館
8月22日（金）20：00～22：00	かばた館
8月27日（水）20：00～22：00	かばた館
9月 3日（水）20：00～22：00	かばた館
10月1日（水）20：00～22：00	かばた館
10月29日（水）20：00～22：00	かばた館
11月1日（土）7：30～21：30	朽木市場
11月2日（日）7：30～12：00	片付け、高島市青年会議所例会

（3）講師等対応記録

① 高島市社会福祉協議会 地域担当者の研修

日時：4月3日（木）

会場：高島市社会福祉協議会本部

講師：坂下靖子

内容：ワークショップ（ウィッシュポエムとバックキャストの進め方）

② 高島市協働推進本部 第1回会議

日時：6月19日（木）10：00～11：00

会場：高島市役所

講師：坂下靖子

内容：たかしま市民協働交流センターの事業説明、市民協働のまちづくりについて

③ 高島市協働推進本部 ワーキンググループ会議

日時：7月10日（土）

会場：高島市役所

講師：坂下靖子

内容：たかしま市民協働交流センターの事業説明、市民協働のまちづくりについて

④ 全国ボランティアコーディネーター研究集会2015 in 大阪
分科会 B-5 地域 “主体的ではないボランティア!?”のコーディネーション
～これからの地域づくりで求められるもの～

日時：平成27年3月1日（日）

会場：大阪府男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

発表者：坂下靖子

内容：たかしま市民協働交流センター事業紹介、たかしま・未来・円卓会議の取り組み
と市民が主役の場面づくり



（４）コピー・大判プリント等対応記録

① コピー・大判プリントの対応 386件

（件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
47	27	38	25	20	24	33	42	30	32	34	34

② 機材貸出 12件

プロジェクターの貸出 10件、ビデオカメラの貸出 2件

（５）潜在的移住者等受入基盤調査事業

高島市内の市民活動、ボランティアグループおよび移住相談に対応している個人など約100団体を対象に、活動内容、移住に関する意識についてアンケート票による調査およびヒアリングを実施し、市民による移住者等受入基盤を把握する目的で実施した。

なお、調査対象団体には、ホームページ上での公開についても確認し、たかしま市民協働交流センターホームページにて、団体情報をリンクすることで広報の支援をする。

期間：平成27年1月5日～2月27日

調査対象：100団体 回収：85団体

調査報告書はホームページにて公開

Ⅲ. たかしま未来を担う人づくり事業

1. 事業の目的と業務概要

(1) 事業の目的

本業務は、根幹的な地域課題に対して、多様な主体の参画により、資源や英知を結集し、相互の協働によって解決する方策を考案することによって、主体性のある創造的な人材を育成し、もって、持続可能なまちづくりを推進することを目的とする。

(2) 業務概要

業 務 名 平成26年度 第49号 たかしま未来を担う人づくり事業業務委託

業務場所 今津東コミュニティセンター内

業務期間 平成26年4月1日以内から平成27年3月31日

業務内容 持続可能な新しい公共の一つとして、社会的企業等によって地域課題を解決に導く仕組みづくりと、こうした行動をリードし、あるいはコーディネートする人材の発掘と育成を行う。事業では、多様な人々の参加をもとに根幹的な地域課題を絞り込み、ワークショップや議論を重ねながら、地域の内外に存在する資源、人々のアイデアやネットワーク等をつないでいくものとする。こうして多様な人々の参画をとおして、それぞれの経験や特性等を活かした協働の仕組みをベースに、持続的に地域課題を解決に導く仕組み(社会的事業等を含む。)をまとめていくものとする。

1. 円卓会議およびプロジェクト会議(OJT) 12回/年

・たかしま・未来・円卓会議(全体会議、気運づくり) 6回/年

・プロジェクト会議 ※運営会議含む(キーパーソンの育成) 6回/年以上

2. コーディネーターのスキルアップ研修(Off-JT)

【回数等】

外部研修の受講 1回×1人

3. その他、上記を実施するために必要な業務

2. 円卓会議およびプロジェクト会議（OJT）

（1）. たかしま・未来・円卓会議

目的: 多様な主体が参画し、対話をとおして高島市内に存在する地域課題に対して、市民一人ひとりの気づきを誘発し、「自分ごと」として捉え、解決の方策や仕組みを考えることを目的に円卓会議を開催。

①キックオフ・ミーティング

日時: 平成26年4月27日(日) 13:30~17:00

会場: 今津東コミュニティセンター ホール

参加人数: 40名 スタッフ: 7名

基調講演: まち・むらの課題を、まち・むらで解決するために

グループワーク: 「協働の可能性を見出す」

講師: 川北 秀人氏

(IIHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表)

内容: 基調講演の後、グループワークを行った。

【今後数年間に高島市で「円卓」すべきこと?】というテーマで、参加者がそれぞれに考え、グループ内で発表。円卓会議づくりをデザインするために、全体で共有した。



市民による市民のためのまちづくり
たかしま・未来・円卓会議
平成26年度キックオフ・ミーティング
～円卓会議の可能性～

高島市制10周年記念事業
まち・むら
人と自然のまちづくり

4/27 SUN
13:30-17:00

会場: 今津東コミュニティセンター ホール (高島市今津町中田 1-4-1)

内容: 高島にある地域の課題や「何となくしたい」地域の困り事など。市民、市民活動団体、企業、行政など、地域を元々いろいろな人や組織がともに考え、力をあわせて課題を、協働によって解決策を見出し、協働が実現している地域円卓会議では、地域の課題を「自分ごと」として考える多様な人や組織が集まり、協働が実現しています。各地の事例を聞き、高島での円卓会議の可能性について考えたいと思います。皆さまのご参加をお待ちしています。

スケジュール
13:00 受付開始
13:30 あいさつ(主催者) あいさつ(高島市)
13:40 基調講演 川北秀人氏 (IIHOE 代表)
14:30 質疑応答
14:45 休憩
15:00 グループワーク 「協働の可能性を見出す」
16:30 終了・お別れ
17:00 閉場

講師: 川北 秀人氏 (IIHOE 人と組織と地球のための国際研究所 代表)

参加費: 無料 定員: 50名 対象: 高島市の未来に関心のある方

申し込み: たかしま市民協働交流センター (TEL: 076-9331 高島市今津町中田 1-4-1) (申込先: 今津東コミュニティセンター) 高島市市民協働交流センター (TEL: 076-9331 高島市今津町中田 1-4-1) (申込先: 今津東コミュニティセンター) 高島市市民協働交流センター (TEL: 076-9331 高島市今津町中田 1-4-1) (申込先: 今津東コミュニティセンター)



「こんなお題(テーマ候補)で、こんなメンバーで」

- ・資源としての高齢化
- ・移住促進
- ・農業
- ・生活困窮者対策: 当事者
- ・困りごと発見のしくみ
- ・仕事づくり
- 行政ワンストップ担当を!
- ・らしさ確立
- ・集落ごとの居場所づくり
- ・高齢世帯安心確立
- ・若者が仕事・生活できる
- ・教育再構築
- 社協・農協も!
- ・地域コミュニティ再生
- ・地域市民参画: 学校も!
- ・高校までの子育て: 大学も
- ・耕作放棄地: 消費者も!
- ※NPO?
- ・エネルギーなど自立可能な地域
- ・少子高齢化適応生活設計
- ・世代・地域を超えた産業継承
- ・森林活用: 観光協会も
- ・高齢社会との付き合い方

②第1回 「今、取り組むべきテーマを考える」

日時: 平成26年7月5日(土) 13:30~17:00

会場: 今津東コミュニティセンター ホール

参加人数: 38名 スタッフ: 7名

テーマ: 【地域の仕事づくり】をベースに今、取り組むべき
テーマを考える

話題提供: 「高島の資源とまちづくり」

木村 道德氏(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

グループワーク: 「円卓会議のテーマを考える」

ファシリテーター: 中川 芳江氏 (Office SPES 代表)



平成26年度 市民による、市民のためのまちづくり
たかしま・未来・円卓会議
高島のまち みんなで描こう、みんなで作ろう
高島市制10周年記念事業

7/5 SAT
13:30-17:00 第1回【地域の仕事づくり】をベースに
今、取り組むべきテーマを考える

会場: 今津東コミュニティセンター 3Fホール (高島市今津町中田 1-4-1)

テーマ: 高島らしさ 観光 アート 森林の活用 地域の見守り
生きがい 福祉 教育 企業 CSR
移住促進 福祉 子育て
耕作放棄地 居場所づくり 地域活用
高齢者の活躍 仕事づくり 安心な暮らし

参加費: 無料 定員: 30名 対象: 高島市の未来に関心のある方、地域での仕事づくりに関心のある方など (定員超過は要10名程度参加)

講師: 中川 芳江氏 Office SPES 代表

申し込み: たかしま市民協働交流センター (TEL: 076-9331 高島市今津町中田 1-4-1) (申込先: 今津東コミュニティセンター) 高島市市民協働交流センター (TEL: 076-9331 高島市今津町中田 1-4-1) (申込先: 今津東コミュニティセンター) 高島市市民協働交流センター (TEL: 076-9331 高島市今津町中田 1-4-1) (申込先: 今津東コミュニティセンター)

内容:参加者全員が、前年度の成果(高島市ならではの地域資源や課題)を踏まえ、【地域の仕事づくり】をベースに今、取り組むべきテーマを考えた。

取り組むべきテーマ

◆第2回目検討テーマ:「自然(里山・森林(森)・水・鹿肉)」を切り口とする

具体的な地域資源一例:里地・里山、森林、水、鹿肉、間伐材、再生可能エネルギー、薪

具体的な課題一例:人家隣接里山林の管理不十分対策

◆第3回目検討テーマ:「観光(プチツーリズム)」を切り口とする

具体的な地域資源一例:空き家、伝統食、地域文化、移住者

具体的な課題一例:増加空き家(防犯、不法投棄)

◆第4回目検討テーマ:「高齢者・生きがい人材活用」を切り口とする

具体的な地域資源一例:元気な高齢者、女性、若者

具体的な課題一例:独居高齢者の日常生活支援



③第2回「自然をテーマに小さなビジネスの種を見出す」

日時:平成26年8月23日(土)13:30~17:00

会場:今津東コミュニティセンター ホール

参加人数:21名 スタッフ:7名

テーマ:【自然(里山、森林、鹿肉、水)】をテーマに
小さなビジネスの種を見出す。

ファシリテーター:中川 芳江氏 (Office SPES 代表)

内容:自然資源を様々な角度から活用し、「高島を、そして自分の住んでいる地域をより良くしたい!」と活動する市内事例を紹介した。

①NPO 法人高島トレイルクラブ 代表:前川 正彦氏

(8月9日 マキノ高原事務所にてヒアリング)

②国境炭焼きオヤジの会 代表:古本 勇義氏

(8月23日 マキノ町国境 古本氏宅にてヒアリング)

③NPO 法人クマノヤマネット 事務局:饗庭 英隆氏

(8月11日 新旭里山体験館もりっこにてヒアリング)

④くつき木の駅実行委員会 委員長:小林 二郎氏

(8月11日 朽木麻生小林氏宅にてヒアリング)

※紹介事例は、事前にヒアリングを行い、活用する資源やターゲット、課題や展望などを整理した。

グループワークで意見を出し合った後、参加者全員で共有する形式で会議を行い、以下3件の「小さなビジネスの種」を見出した。





平成26年度 市民による、市民のためのまちづくり

たかしま・未来・円卓会議

連続講座

高島市のちいさな未来を創ろう
高島市第10周年記念事業として

日時 12月13日 SAT 13:30~17:00	あなたの地域資源を活用した「小さなビジネス」で、地域の課題解決につなごう！ これまでの円卓会議を開催して 【第5回】 事業を具体化させよう! ※スケジュールは重要なお覧ください。
場所 金津東コミュニティセンター 3Fホール (高島市中津町中田 1-4-1)	進行 川原 芳弘氏 OFFICE HIRASAKI 代表 〒718-8501 高島市大谷町1丁目2番地1号 TEL:087-822-1111 FAX:087-822-1112
参加費 無料 定員 30名 先着順あり(観覧席も1/21：6名止)	
内容 このままの円卓会議では、高島市にある地域資源や課題を整理して、「仕事をつくる」ベースに、事業者とつながるテーマ①自然 ②観光 ③高齢者などの生きがい人材活用から小さなビジネスの発展を見出しつつ、これまでの成果を確認し、地域資源（土地、知恵、資金等）を使った可能性のある地域の課題解決につながる持続可能な仕組み作りをおこなっていきます。（予定）	
対象 ●高島市内に地域資源を持つ個人、団体、企業など、業種、世代、性別の異なる、後者の時間、休日の時間帯に参加できる方、関心のある人。 ●高島市内外の希望者が申し込み、申込み後は、申込書、履歴表、今後の時間を、併せてお送りいただきます。 ●出席アポイントメントという形で、契約のようなもの	

図書館の子供とも読書や
サービスツアー

カフェや飲み歩きを活用した
コミュニケーション サービス

開館前などは
つづら湯
バーベキュー

喫茶店兼花屋
活かす土産物

商店街の活用

決まりごと

- たかしま・未来・円卓会議 視察研修
 - 地域資源を活かし、地域の魅力と力点を次世代へつなぐために…
 - 日時：2月7日（土）7:45集合 10:00～11:30am（予定）
 - 訪問先：水戸温泉バス停留所からの周遊エリア内の一連のスポット、その先の夏まつり会場、お茶の間、お天ぷらの軒元などでの見学となります。

たかしま未来協議会実行センター
〒718-8501 高島市大谷町1丁目2番地1号 TEL:087-822-1111 FAX:087-822-1112
Eメール: info@takashi-mae.jp Web: www.takashi-mae.jp

高島市長官舎内環境文化研究センター
〒718-8501 高島市大谷町1丁目2番地1号 TEL:087-822-1111 FAX:087-822-1112
Eメール: takashi-city-office@mail.sanichiro.co.jp

⑦たかしま・未来・円卓会議 報告会&交流会

日時:3月20日(金)19:00~21:30

会場:新旭公民館 視聴覚室

参加人数:24名

スタッフ:7名

内容:円卓会議で見出した地域ビジネスの紹介と交流

ファシリテーター:中川 芳江氏 (Office SPES 代表)

内容:4月に開催したキックオフ・ミーティングを含め、全6回開催してきた円卓会議の成果となるビジネスプランを事業実施者より発表、その後、参加者同士が交流した。

◆コミュニティ・ビジネスプランの発表

- 1)近江里山の薪／堀 久好氏(近江通商株式会社)
- 2)くつき木の駅プロジェクト／三田村 勝氏(FEC 自給圏ネットワーク)
- 3)くつきの森／石脇 和氏(NPO 法人 麻生里山センター)
- 4)朽木ゴールドもみじ／松葉 誠氏(朽木猟友会)
- 5)グリーン・ヘルス・ツーリズム／姜 永根氏(株)グリーンヘルス)
- 6)地域資源を活かしたサイクルツアー／佐山 恭一氏(BLUE BICYCLE SHOP)

円卓会議参加者で、新しい取組みを始めた太田秀子氏(マキノ町在住)より、「おおばこクラブ」の活動紹介があった。

また参加者は、それぞれの事業 PR に対して、付箋にアイデアなどを書き、各事業のブースに貼った。業実施者へ様々な視点からのアイデアや、参加者自身が実施しているビジネスでのコラボレーションなどが出来ないかなど、地域内での商談の場にもなった。



(2) プロジェクト会議

目的: 円卓会議を補足し、より具体的なプランや行動を導くために、会議の中からキーパーソンとなる人材を集め、必要な情報収集をはじめ、現状分析、課題抽出および解決に向けた方策ならびにその体制整備に向けた研究と検討を行う。

①第1回 プロジェクト会議

日時: 平成26年4月27日(日) 11:00～12:00

場所: 今津東コミュニティセンター 第2会議室

出席者数: 13名



◆円卓会議のテーマ、進め方検討

- ①第1回会議の参加者が1年間を通して参加できる環境づくり
→キックオフの内容を踏まえ、前年度の円卓会議とつながりを持たせる。
- ②協働交流センター協議会運営委員の積極的な関わりおよび運営委員会の考え方
→市民が高島市の将来について話し合える場が必要だと考える。そのために、世代や性別を超えた市民や子育て中のお母さんが参加できるような工夫が必要。
- ③従来から高島に居住する人の参加
→地元住民の参加(移住者ではなく)がまだまだ少ないので、ここを強化していく必要がある。
- ④市制10周年記念事業としてのPR
→会場でのノボリ設置やチラシ等でのロゴ記載含め、記念事業をPRする。
- ⑤ファシリテーターの今後の関わり
→今後内容を詰めながら、ファシリテーターと着地点をしっかりと共有する。

②第2回 プロジェクト会議

日時: 平成26年5月27日(火) 14:00～17:30

場所: 今津東コミュニティセンター 第2会議室

出席者数: 9名



◆円卓会議のテーマ、進め方検討

- ・円卓会議では、基本的に自主的に出てきてもらえること。
- ・一回目は、参加者にテーマ決定を委ねてはと思う。
- ・ひとつのテーマではないことをどうアピールして、来て欲しい参加者にどう来てもらうか。
- ・年間をとおしてベースとなるテーマを作る。

<平成26年度テーマ設定>

ベースキーワード: 仕事づくり

メインテーマ: 「森林」×「●●●」 ※サブテーマを参加者が3つ考える

<アウトプットイメージ>

- ・森林資源を活かし市内の課題解決ができる資源マッチングで、事業イメージできるところまで。
- ・ソーシャルビジネスの種を出す。

＜平成26年度スケジュールイメージ＞

- 1回 7月5日 サブテーマを考える
- 2回 8月 第1テーマの課題解決策&シーズ出し
- 3回 10月 第2テーマの課題解決策&シーズ出し
- 4回 12月？ 第3テーマの課題解決策&シーズ出し
- 5回 1月？ 総合的な課題解決策の整理・共有と担い手出し
- (6回)3月？ 26年度円卓会議のまとめと発表(報告会)

＜参加者とその集め方＞

- ・チラシに関しては、環境問題や林業を強調しないことで、多様な参加を促す。

＜第1回 円卓会議の内容案＞

- 第1部 「森林または地域にとっての山について(仮)」(話題提供)
- 第2部 仕事づくりをベースにした「森林」×「●●●」のテーマ選出

③第3回 プロジェクト会議

日時:平成26年7月29日(火)14:00～17:00

場所:今津東コミュニティセンター 第1会議室

出席者数:8名



1. 第2回目標

自然(里山、森林、鹿肉、水)をテーマに、持続可能な仕組みの種を見つけること。

2. 紹介事例について

◆参加者のイメージを高めてもらうために市内の事例にヒアリングし紹介

- 近江里山の薪 <http://oumi-tsusho.com/>
- NPO 法人高島トレイルクラブ <http://www.takashima-trail.jp/>
- 高島森林体験学校 <http://takashimanomori.com/home/index.html>
- NPO 法人クマノヤマネット <http://www18.ocn.ne.jp/~morikko/index.html>
- 木の駅プロジェクト

◆事例紹介の意味

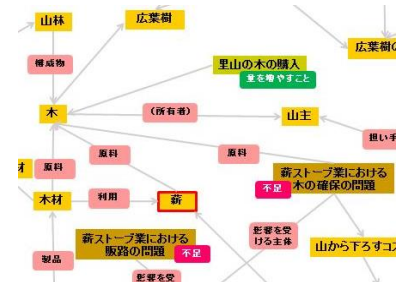
- ・大事なのは「やってみよう！ やってみたい！」というインセンティブを与えること。
- ・魅力を感じてもらえるかということが大事。
- ・円卓を通じて、面白さを見出し事業実施者と若い人が出会うと良い刺激になる。

3. 円卓会議の運営と参加者について

- 今後の会議の進め方は、参加者に委ねながらも、必要な情報提供を提供して進める。
- このプロジェクト会議の中に円卓会議の参加者等から「自分の事業を実施したい人」を巻き込む。
- 他のテーマにつながっていくための第2回円卓会議である。新事業をするだけの円卓会議ではないということを伝えていく必要がある。

出席者数:8名

- ・前半、グループワークでアイデアを出し合い、後半に円卓会議に持ち込む形式。前回の反省は、グループ内で記録できる人がいなかった。記録係が入ること。
- ・次回は観光をテーマに、記録係が地図を意図的に活用する
- ・マスツーリズムではないということを参加者に理解してもらう。



→前回のキーワードを次回に引き継ぐ形にしたい。引き継ぎたいのは「発散されたもの」であり、最後にまとめる3つの種はとりあえずの落としどころとなる。毎回、このアウトプットがあるだけでも一つの成果になるだろう。

A group of students are seated at long wooden tables in a classroom, working on laptops and papers. The room features large windows on the left side, a clock on the wall, and a calendar. The students are dressed in casual attire, and the atmosphere appears to be a focused learning environment.

出席者数及び氏名：11名

農家民泊、空き家・間伐材利用を合わせて

2. キーマンによる事業紹介と現状の課題抽出

◆朽木ゴールドもみじ 松葉 誠氏

<現状の課題>

- ・「やりたいこと」と「今、できること」、「今、しなければならないこと」などの整理が必要。
- ・解体処理業と販売業を一人で行っており、実質的に人手や時間が足りない状態で進んでいる。

◆NPO 法人麻生里山センター 石脇 和氏

<現状の課題>

- ・事業運営に係る経費が委託費で賄われており、実質的な収支のバランスが悪い。
- ・ターゲットが不明確で、効率的かつ効果的な情報発信が出来ていない。
- ・様々な課題を抱える中で、常に人手不足。
- 昔からのくつきの森ファンのネットワークが十分に活かせていない。

◆意見交換

協働の可能性、販路やビジネスの種になるアイデアなど、それぞれの事業に対し、様々な立場からのアドバイス等の意見交換を行った。共通の課題として、「やりたいこと」から収益を上げるイメージが弱いので、収益を出すための整理が必要。

⑥第5回 プロジェクト会議①

日時:平成26年10月20日(月)14:00~14:50

場所:今津東コミュニティセンター 会議室1

出席者数:8名



1. 第4回円卓会議の進め方について

・高齢者にとって「働く」=「生きがい仕事」。最後まで働き続ける「仕事」。キックオフの川北さんが問題提示したのはこの部分。

→高齢者の活躍度の高い事例をふりかえるところから始まり、モデル的事例のプロセスを伝え、さらにどんな人や活動とつながるともっと展開するのか、という方向で進めていく。

→これまで紹介した事例をつなげて見せることができればよいのでは。

→「生きがい」と「高齢者」の話は、次元の違う話。若者の就労やさまざまな「生きがい」があり、次元の異なるものがクロスしているのだということによいと思う。各個人が何に「生きがい」が持てるかは人によって違う。「生きがい」が持てる機会が多いほうがいいということを共通認識しておければいい。

2. 事例について

◆「結いの里・椋川」

限界集落、今津町椋川で市に譲渡された茅葺民家を活用して、都市農村交流を2009年から続けている地元グループ

◆「睦美会」

朽木市場の丸八百貨店を、2004年から地域コミュニティカフェとして運営している地元おばあちゃんグループ

3. 視察先について

視察候補地についての提案と説明があった。

・里山ネット綾部(京都府綾部市)

・農業法人せいわの里まめや(三重多気郡多気町)

- ・桃源郷祖谷の山里(徳島県三好市)
- ・役場の景観修復・交流イベント等(岐阜県御嵩町)
- ・豊岡市+コウノトリの郷(兵庫県豊岡市)
- ・NPO 法人奥矢作森林塾(岐阜県恵那市串原)
- ・アマタ持続研のバイオガス発電と農畜産業連携(京都府京丹後市)

⑥第5回 プロジェクト会議②

日時:平成26年10月20日(金)15:00~17:00

場所:今津東コミュニティセンター 会議室2

出席者数:14名



◆第2回、第3回の円卓会議のふりかえり(資源をつないでいく仕掛け)について

これまでの円卓会議の成果や課題について共有し、関連事業者から事業説明の後、事業の整理と課題抽出、アドバイス等の意見交換を行った。

- ① 朽木ゴールドもみじ 松葉 誠氏
- ② NPO 法人麻生里山センター 石脇 和氏
- ③ 木の駅プロジェクト 三田村 勝氏 ・ 谷口 忠泉氏
- ④ 巨木と水源の里を守る会 小松 明美氏

→人や事業をつなげ、コラボレーションで事業しようというのが円卓会議の目的。来年あるいは再来年にでも、麻生里山センターを基点に、こんなコラボレーションができれば、というプランを3案くらい作ってみる。

麻生里山センター 事業プランの作成(3案程度)

円卓会議で多様な方と接点が生まれており、このつながりを活かしたプランを作って、今後に活かしたい。お互い朽木で事業をしており、次の展開のヒントにもなっていくと思う。

巨木の会 事業の数値化

地元の方との信頼関係は3年間の大きな成果。しかし、事業を次の世代につなぐためには、経費をまかなえないとつなげない。そのために説得力のある数値化が必要。

鹿肉ビジネス 乾物のビジネスモデルを考える

冷蔵、冷凍施設の要らない商品があれば、販売先も広がるのでは。九州でペットフードにジビエ肉を使い始めているという情報がある。商品ジャンルが広がると既にあるネットワークが活かせる。

⑥第6回 プロジェクト会議(薪ビジネス)

日時:平成27年1月7日(水)14:00~17:00

場所:今津東コミュニティセンター 第3会議室

出席者数:10名



1. 薪ビジネス実施者との情報交換について

高島の地域資源を使った事業として、薪を販売する事業や木の駅プロジェクトなどが動き出している。円卓会議の出会いから、再生可能エネルギーの利用を進めたいと考えている。

小さな仕事づくりを目的としており、薪事業に関しては様々な組織や主体の協働が必要。来年度もフォローしていきたい。

2. 木質バイオマスエネルギー利用調査について

薪事業に係る情報の整理と高島市内での薪利用状況調査について、琵琶湖環境科学研究センターより説明があり、情報共有と意見交換を行った。

3. 薪ビジネスの課題

- ① 木の駅プロジェクトが感じている課題
販路の課題、搬出の課題、システムの課題等について意見交換
- ② 薪ボイラーの活用についての課題
供給の課題、行政の課題等について意見交換
- ③ 近江里山の薪が感じている課題
価格帯の課題、在庫管理の課題、労力の課題等について意見交換

4. 薪ビジネスの課題解決のための提案

- ① 薪利用状況調査について（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）
→市内のニーズ調査を行い、供給側をつなぎたい。
- ② 薪バンク事業提案について（近江里山の薪）
→一括した情報収集と提供の場が必要
- ③ 高齢者や障がい者雇用について（高島市社会福祉協議会）
→作業内容を整理、分解することで新たな働き場が出来る。

5. その他

薪ビジネスの現状と広がりや、滋賀県のフォレスター（仮）制度について意見交換を行った。

⑦第7回 プロジェクト会議

日時：平成27年1月16日（金）14:00～17:00

場所：今津東コミュニティセンター 会議室2

出席者数：8名

1. 第5回「事業を具体化しよう」円卓会議の進め方について

円卓会議で具体化した4つの事業案について、事前に各事業実施者にビジネスプラン作成の基本フォーマットを提供し、事務局がヒアリングしながらサポートし、当日は実施者が発表する。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">① 薪ビジネス全体の流れ
→担当：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター② 鹿肉ビジネスプラン
→発表：朽木ゴールドもみじ③ 歴史資源を活かした観光（ターゲット外国人）サイクリング活用
→発表：株式会社グリーンヘルス
→発表：BLUE BICYCLE SHOP④ 森林での子ども体験とセラピーツアー
→発表：NPO 法人麻生里山センター |
|--|

◆ヒアリング時や今後の注意点

円卓会議で出された資源を積極的に使えるようサポートする。
今後の展開、ポテンシャルがあるという可能性の面を出す。

◆オントロジーの活用について

「資源活用ビジネスマップ」のようなものが出来るとよい。

⑧第8回 プロジェクト会議

日時:平成27年3月3日(火)14:00～17:00

場所:今津東コミュニティセンター 会議室3

出席者数:8名



1. 円卓会議 報告会 & 交流会の進め方について

第1部に、円卓会議から出された地域ビジネスを事業実施者から発表5案。参加者から新しいプランの提案2案くらい出ると良い。第2部は、事業へのアイデアや情報交換する交流会で実施。

2. 薪調査と薪林資源活用ネットワーク(仮)について

進捗と今後のことについて、情報共有と意見交換を行った。

3. 次年度の円卓会議について

各地域の住民福祉協議会では区長、民生委員、福祉推進員など地域の課題に密着している人々と住民福祉推進活動計画(5年計画)が作成された。広く住民の参加を促し、福祉をベースにした「まちづくり」へ活動を進めたいと考えておられる。地域の住民福祉協議会とともに、地域課題を解決する一つのツールとして円卓会議を進めて行ければと考えている。

<課題>

- ・区・自治会だけで支えることに限界が来ている。
- ・区・自治会を超えて、支え合いを考えたり、課題を共有する場が必要。
- ・役に当たっていない市民も地域に参加する入り口をつくる。
- ・多様な市民が地域課題を出し合って、一緒に考える場をつくる。
- ・各区の課題や取り組みを共有する区長会のような場が無い。

(3) 視察研修

たかしま・未来・円卓会議 視察研修

目的:コミュニティ・ビジネスの先進事例地を訪れ、その経緯や課題について学ぶと共に、円卓会議参加者と意識を共有することを目的に視察研修を行った。

日時:平成27年2月7日(土)出発7:45~帰着18:30

訪問先:水土里ネット立梅用水(立梅用水型小水力発電プロジェクト)

農業法人せいわの里まめや(農村料理レストラン)

参加人数:20名 スタッフ:7名

内容:三重県多気郡多気町へ、地域の資源を活かしたビジネスで地域の元気と魅力を高めている方々を訪ねた。

◆多気郡多気町の基礎データ

※()内は、高島市内で同規模の今津町の数字。【2015年1月現在】

・人口・世帯数【2014年12月31日現在】

人口15,228人(12,220人) 世帯5,533世帯(4,967世帯)

男性7,414人(6,044人) 女性7,814人(6,176人)

・面積

103.17 km²(122.74km²)

・森林率

57.4%【地域面積10,317ha 森林面積5,923ha】

(76.4%【地域面積12,274ha 森林面積9,379ha】)

水土里ネット立梅用水(立梅用水型小水力発電プロジェクト)

200年間守り続けてきた立梅用水を農村地域活性化や6次産業促進を図るために必要な電力エネルギーを生む「地産地消型エネルギー」生産の場とする事業として始まった市民、行政、産業、大学の協働プロジェクト。小水力発電をきっかけとしたまちづくり事例。

<所感>

立梅用水型小水力発電は実験段階であり、コミュニティ・ビジネスとしては、まだまだ難しいという印象だが、この立梅用水がある波多瀬地区の地域全体としては、地域住民が地域課題の解決に向け、何とかしようという意識と動きがあり、高島市としても見習うべきところは多くあるのではないかと感じた。

農業法人せいわの里まめや(農村料理レストラン)

「農村文化を次の世代に伝えたい」という想いのもと、平成15年に設立。農産物だけでなく、野山の緑、土の感触、風の心地よさ、人と人のつながりなど、地域の資源を活かしながら、大切なふるさとを元気に輝いたかたちで次の世代につなげたいと、活動しているコミュニティ・ビジネスの事例。平成27年1月、ふるさとづくり大賞総務大臣賞受賞。

<所感>

農村料理バイキングのクオリティも高く、代表の北川さんの想いと覚悟に圧倒された。コミュニティ・ビジネスの場合、ビジネスとしての実現可能性や覚悟はもちろんだが、地域の人との「いっしょに事業を行う」だけの信頼関係や地域の人を巻き込む想いの強さが何よりも必要なのだということを思い知らされた。

平成26年度 たかしま・未来・円卓会議 視察研修

地域の資源を活かし、地域の元気と魅力を次世代へつなぐまちに学ぶ

たかしま・未来・円卓会議では、高島の資源を活かした小さなビジネスの種を付けようという取り組みです。三重県多気郡多気町へ、地域の資源を活かしたビジネスで地域の元気と魅力を高めている方々を訪ねます。ご参加お待ちしております！



せいわの里まめや(農村料理レストラン)



水土里ネット立梅用水

日時 平成27年2月7日(土) 集合 午前7:45 解散 午後6:30

集合 今津東コミュニティセンター (高島市民会館前、近江近江歩道より徒歩5分)

参加費 1,000円(資料代)(昼食に農村料理バイキング1200円別途必要)

定員 20名(先着順)

対象 地域資源を活用したビジネスに関心のある方、取り組みたいとお考えの方など

申込方法

1月31日(土)までに下記まで、氏名、所属、住所、連絡先(TEL、E-mail)をご連絡ください。

申込・問い合わせ先

たかしま市民協働交流センター

〒520-1622 滋賀県高島市今津町中1-4-1 (今津東コミュニティセンター内)

TEL: 0740-20-5758 FAX: 0740-20-5757

E-mail: webmaster@tac.takashima-shiga.jp



(4)広報

目的:本事業を市内外に広く認知してもらうことを目的に、参加者募集チラシ・ポスターなどを作成し、HPやブログ等での発信、プレスリリース、まちづくり関連会議への参加などを行った。また、市内外の公共施設や市民活動団体、円卓会議参加者へ郵送または直接配布した。

①参加募集チラシ・ポスター等の作成

◆参加者募集チラシやポスターおよび事業報告パンフレットの作成を行った。



たかしま・未来・円卓会議事業報告パンフレット

②プレスリリース

◆市内のメディア関係各社(25社)に対し、円卓会議毎に、プレスリリースを発信。
・プレス発信回数 8回

<掲載>

・平成27年1月21日(水)
朝日新聞朝刊地方欄

・平成27年2月17日(火)
読売新聞しが県民情報



3. コーディネーターのスキルアップ研修

目的: 多様な主体が参画する会議の進行やプロジェクト等のプログラムデザインを学ぶため、「株式会社ひとまち」が主催する【プログラムデザインドリル講座】に参加した。

プログラムデザイン ドリル講座(大阪・株式会社ひとまち)

日時: 平成27年1月29日(木)9:30~21:15

会場: 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

講師: ちょん せいこ氏(株式会社ひとまち代表)

内容: 主な講座の内容は以下の通り。

1. ファシリテーション 6つの技術

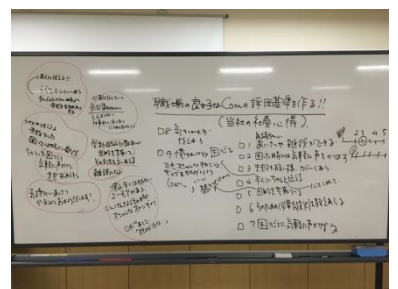
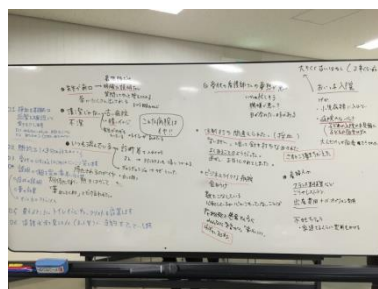
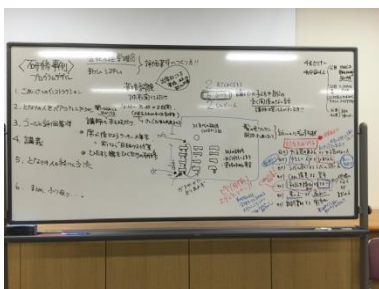
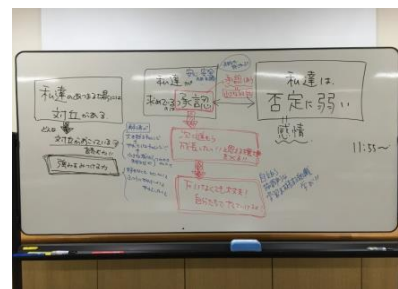
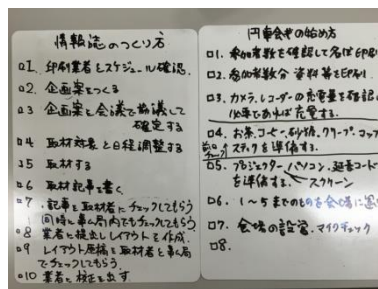
1. インストラクション
2. クエスチョン
3. アセスメント
4. フォーメーション
5. グラフィック&ソフィニケーション
6. プログラムデザイン

2. 評価基準の作り方

3. プログラムデザイン

今回、会議の進行や運営に必要なスキルについての学びも多かったが、様々な会議や講演会、プログラム等を企画する段階から、意識すべき考え方や知識について学ぶことができた。

ファシリテーターは参加者を安心させ、豊かなコミュニケーションを引き出すため、会場の設営や声のトーンに関しても、最適な状況、場を演出することなど、意識的に行うことで、様々な分析や評価することにもつながるとのこと。常日頃の会議等でも、【何となく】行っていたことを、【意識的に】実行していきたいと思った。また、ファシリテーションは技術なので、何度も繰り返し経験・練習することが大事で、失敗をおそれず、様々な場面で経験を積んでいきたいと感じる講座だった。



Ⅳ. 今津東コミュニティセンター

1. 施設利用状況

平成25年度 施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H26年1月	2月	3月	合計	
和室大	団体数	31	27	34	26	19	24	32	22	25	31	28	31	330	
	人数	336	406	544	312	201	220	383	306	865	357	454	480	4864	
和室小	団体数	11	15	15	14	18	24	22	21	19	9	19	17	204	
	人数	62	180	131	312	108	96	109	118	113	50	245	79	1603	
会議室 (1)	団体数	36	33	38	34	30	34	29	34	24	30	33	31	386	
	人数	36	223	329	277	221	244	278	237	206	192	254	238	2735	
会議室 (2)	団体数	25	25	26	31	25	19	29	23	17	19	23	24	286	
	人数	207	211	177	296	217	157	200	188	157	201	337	231	2579	
会議室 (3)	団体数	25	28	24	24	24	30	20	20	248	17	30	27	517	
	人数	188	228	222	187	215	248	133	144	477	107	456	243	2848	
調理実習 室	団体数	8	11	8	11	7	7	8	9	13	10	10	9	111	
	人数	100	155	143	165	143	94	112	215	477	143	257	120	2124	
大ホール	団体数	42	42	41	38	32	41	45	45	35	43	44	43	491	
	人数	784	1108	836	816	934	883	1008	1052	1545	1284	1153	1127	12530	
1F展示・ ロビー	人数	240	263	361	291	285	267	611	584	7189	431	488	460	11470	
合 計	団体数	178	181	186	178	155	179	185	174	381	159	187	182	年間合計	2325
	人数	1953	2774	2743	2656	2324	2209	2834	2844	11029	2765	3644	2978		40753

※利用拒否件数 0件

平成26年度 施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H27年1月	2月	3月	合計	
和室大	団体数	28	23	30	33	26	32	34	24	27	25	35	27	344	
	人数	289	232	389	368	277	374	562	416	355	208	338	509	4317	
和室小	団体数	18	16	18	22	14	17	21	20	10	9	11	13	189	
	人数	97	248	184	188	113	140	169	243	64	96	128	276	1946	
会議室 (1)	団体数	33	36	37	40	25	36	34	36	29	27	37	33	403	
	人数	252	249	331	277	164	284	458	369	230	204	299	379	3496	
会議室 (2)	団体数	20	22	30	31	22	27	32	26	16	22	26	22	296	
	人数	144	337	342	297	166	284	517	384	144	181	227	366	3389	
会議室 (3)	団体数	25	24	35	33	24	37	33	26	18	29	36	30	350	
	人数	199	324	269	291	182	301	507	342	133	252	307	389	3496	
調理実習 室	団体数	7	8	7	8	9	10	12	8	9	10	10	12	110	
	人数	123	113	102	116	113	150	246	236	176	116	135	310	1936	
大ホール	団体数	45	45	51	53	37	41	46	40	21	32	41	44	496	
	人数	891	1354	1120	1488	747	851	1234	1160	380	683	1037	1147	12092	
1F展示・ ロビー	人数	114	313	6376	266	457	476	490	1128	167	366	409	887	11449	
合 計	団体数	176	174	208	220	157	200	212	180	130	154	196	181	年間合計	2188
	人数	2109	3170	9113	3291	2219	2860	4183	4278	1649	2106	2880	4263		42121

※利用拒否件数 0件

2. 事業報告

(1) 1階展示ホールについて

1階ロビーの展示ホールを市民や館利用者等に開放し、展示会等で利用してもらった。

	件数（利用団体数）	入場者数
前期	8 件	のべ約 2500 人
後期	16 件	のべ約 3000 人

(2) 市民ミニ講座開催について

2-1. 「初心者のための陶芸体験教室」

当館職員の岡野史子を講師として初心者向けの陶芸体験教室を開催した。

	日時	参加人数	内容
第一回	5 月 17 日	9 名	たたらづくりによる
	5 月 31 日		ピアカップ又は筆立ての制作
第二回	7 月 20 日	8 名	はにわ 又は植木鉢の制作と
	8 月 30 日		野焼き体験（天候不順により野焼きは中止）
第三回	不開講		
第四回	12 月 14 日	2 名	玉づくりによる
	12 月 27 日		ぐい呑み又は小鉢と 七輪窯陶芸体験
第五回	不開講		

2-2. 「世界の台所」

高島市国際協会と共催で、高島市内に在住の外国人を講師に招き、料理教室を開催した。

	日時	参加人数	講師	内容
第一回	9 月 7 日	15 名	グエン・ティ・イエン、 ダオ・ティ・ダイン・ビン、 ファン・チイ・ガン・ウェン （ベトナム）	ビーフンネム、 揚げ春巻き、 空芯菜炒め
第二回	11 月 22 日	10 名	鄭 文子（韓国）	白菜キムチ
第三回	3 月 1 日	18 名	ノルアイン・ハディラアヨ ブ（マレーシア）	ブーブーアシュラ ブアマラッカ

写真

1. 1F 展示ホールの利用風景



平成 24 年度「水彩画サークル彩友」の展示



面美会作品展の様子

2. 市民ミニ講座開催

2-1. 初心者のための陶芸体験教室



第一回開催時の風景

2-2. 世界の台所



第三回 「マレーシアのお菓子を作ろう」の様子